

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 7 月 7 日 (2005.7.7)

【公表番号】特表 2004-538499 (P2004-538499A)
 【公表日】平成 16 年 12 月 24 日 (2004.12.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-050
 【出願番号】特願 2002-568621 (P2002-568621)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 3 B 17/02
 G 0 2 B 7/02
 G 0 3 B 17/56
 H 0 4 N 5/225

【F I】

G 0 3 B 17/02
 G 0 2 B 7/02 E
 G 0 3 B 17/56 Z
 H 0 4 N 5/225 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 15 年 11 月 10 日 (2003.11.10)

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

カメラハウジング (30) と、

カメラハウジング (30) に撮像すべき場面 (14) からの光を導くことが出来る第 1 の対物レンズ (12) と、

撮像すべき場面 (14) からの光を蓄積することが出来る半導体センサー領域 (28) とを備えるビデオカメラにおいて、更に

第 1 の対物レンズ (12) を通して導かれた光が投射領域 (16) に結像されるように第 1 の対物レンズ (12) に関連して配置された投射領域 (16) と、

投射領域 (16) からの光が半導体センサー領域 (28) 上に結像されるように、投射領域 (16) と半導体センサー領域 (28) とに関連して配置された第 2 の対物レンズ (26) とを備えることを特徴とするビデオカメラ。

【請求項 2】

投射領域 (16) が光沢のない面、特に艶消しガラスディスクであることを特徴とする、請求項 1 に記載のビデオカメラ。

【請求項 3】

第 1 の対物レンズ (12) が 3.5 mm 光学素子であり、投射領域 (16) が、矩形であり 20 mm から 35 mm の範囲の幅、好ましくは 25 mm の幅を有することを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載のビデオカメラ。

【請求項 4】

第 2 の対物レンズ (26) は、投射領域 (16) からの光を、焦点がよく合った状態で半導体センサー領域 (28) 上に結像するように配置されていることを特徴とする、請求項 1 ～ 3 の何れかに記載のビデオカメラ。

【請求項 5】

ビデオカメラ(10)は半導体センサー領域(28)を読み出し、読み出したデータを保存する記録機構(32)を備えることを特徴とする、請求項1～4の何れかーに記載のビデオカメラ。

【請求項6】

投射領域(16)が前面及び背面を有し、第1の対物レンズ(12)は、投射領域(16)の前面に、撮像すべき場面(14)からの光が結像されるように配置され、第2の対物レンズ(26)は、投射領域(16)の背面からの光が、半導体センサー領域(28)に結像されるように配置されることを特徴とする、請求項1～5の何れかーに記載のビデオカメラ。

【請求項7】

投射領域が、好ましくは、投射領域の前に配置される透明なディスクと、投射領域の後ろに配置される透明なディスクとによって収容されることを特徴とする、請求項1～6の何れかーに記載のビデオカメラ。

【請求項8】

投射領域を動かすための手段、特に回転させる手段を更に有することを特徴とする、請求項1～7の何れかーに記載のビデオカメラ。

【請求項9】

アダプターハウジング(30')と、

アダプターハウジング(30')内に撮像すべき場面(14)からの光を導く第1の対物レンズ(12)とを備えるビデオカメラ用アダプターにおいて、更に、

第1の対物レンズ(12)を通して導かれた光が投射領域(16)に結像されるように第1の対物レンズ(12)に関連して配置された投射領域(16)を備え、

アダプターハウジング(30')は、ビデオカメラの対物レンズ(26)が、ビデオカメラによって投射領域(16)上の映像が記録できるように投射領域(16)に向けられるように、ビデオカメラにアダプターを取り付ける手段を有することを特徴とするビデオカメラ用アダプター。

【請求項10】

投射領域(16)は、マーク又はマーキングを有しないことを特徴とする、請求項9に記載のアダプター。

【請求項11】

投射領域(16)は光沢のない面、特に艶消しガラスディスクであることを特徴とする、請求項9又は10に記載のアダプター。

【請求項12】

アダプターの対物レンズ(12)が35mm光学素子の第1の対物レンズ(12)であり、投射領域(16)が、矩形であり、20mmから35mmの範囲の幅、好ましくは25mmの幅を有することを特徴とする、請求項9～11の何れかーに記載のアダプター。

【請求項13】

投射領域(16)が前面及び背面を有し、アダプターの対物レンズ(12)は、投射領域(16)の前面に、撮像すべき場面(14)からの光が結像されるように配置され、アダプターをビデオカメラに取り付ける手段は、ビデオカメラの対物レンズ(26)が、投射領域(16)の背面に向けられるように配置されていることを特徴とする、請求項9～11の何れかーに記載のアダプター。

【請求項14】

投射領域が、好ましくは、投射領域の前に配置される透明なディスクと、投射領域の後ろに配置される透明なディスクとによって収容されていることを特徴とする、請求項9～13の何れかーに記載のアダプター。

【請求項15】

投射領域を動かすための手段、特に回転させる手段を更に有することを特徴とする、請求項9～14の何れかーに記載のビデオカメラ。